



静岡県議会議員
鈴木 啓嗣

穏やかな日差しが心地よい季節。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
近年の世界情勢は、新型コロナウイルス感染症の拡大をはじめ、自然災害や国同士の争いごとなど、不安な出来事が次々と起こっています。このような状況下、我が国の経済は緩やかな回復傾向にあると言われつつも、物価高、資材高騰は、私たちの暮らしに大きな影響をもたらしています。また、少子化・人口減少の課題も厳しい状況が続いており、社会・産業構造や働き方は大きな転換点を迎えています。

このように様々な変化が同時に進む今だからこそ、皆様の声を的確に代弁し、この地域には今何が必要なのか、何をすべきなのかを、積極的に提言していかなければならないと強く感じています。

地方議員とは、地域の特性を的確にとらえ、強みを伸ばし弱点を補い、そして地域に利益と安心をもたらすことが最大の仕事であると考えます。

現在も様々な施策はとられておりますが、日々変化する状況の中、その時代に合った選択、決断をする必要がございます。そのために、皆様とお話をさせていただき、その声を道標に、安心・安全で活力ある地域社会の実現に向け歩を進めてまいります。今後も、皆様からご意見、ご要望を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、日頃の温かなご支援に心から御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



政務調査活動等

厳しい財政状況下でも、やるべきこと事はたくさんあります。地元地域や、関係議員の皆さんと連携し活動してまいります。



豪雨災害現場確認



浜名湖内状況確認



浜名湖護岸状況確認

要望活動



県への地域要望活動



県政報告会を実施



県民の皆様のご意見等、お聞かせ下さい。



視察活動等



温浴を活用したウェルビーイング推進議員連盟

近年、タイでは経済成長とともにツーリズムが盛んになり、政府主導のウェルネスツーリズムにより温泉に対する認識も非常に高まっている状態です。
また元来、親日度が高い国であり、日本文化に対する興味は大きく、来日タイ人の増加に伴い日本の温泉に対する認知度も上昇しています。そういった状況下、静岡県がタイからのインバウンドを確保するため、タイ観光局と静岡県が交わした覚書に基づき、他県に先んじて関係を深めることが重要と考えます。



令和6年度は、建設委員会に所属し、副委員長を務めております。建設委員会では、道路、河川、港湾、農地や森林などを整備したり、まちづくりをする仕事に関する事項を審議しています。また、特別委員会では、盛土等の規制に関する条例等検証特別委員会に所属しておりました。

静岡県議会本会議での質問及び答弁

【令和6年6月27日 一般質問 質疑・質問事項】

【質問1】

令和6年能登半島地震を踏まえた災害廃棄物の処理について

▼答弁

災害発生時に迅速に処理方針を打ち出せるよう関東ブロックの協議会に参加し最新の知見を踏まえた広域連携マニュアルの作成を進めており県内外で災害が発生した際の廃棄物処理に関する課題を常に把握するとともに国や市町、関係機関と連携して災害廃棄物の適正かつ迅速な処理に必要な備えを進めてまいります。

【質問2】

開港15周年を迎えた富士山静岡空港の今後の展開について

▼答弁

15周年を弾みに本県とアジアを中心に世界各地とのネットワークを構築することで富士山静岡空港が一大交流拠点となるよう県や運営権者、関係団体が一体となり全力で取り組んでまいります。

【質問3】

入院治療等により登校できない私立高校生徒への学業支援について

▼答弁

県内の私立高校に対し遠隔通信授業の適切な運用と活用を呼びかけているほか、補助制度を通じ学校の取組を支援しております。また県教育委員会主催の研修に私立高校が参加し遠隔授業実施上の留意事項を学ぶなど公私連携の取組も進めております。自主性や教育方針を尊重しつつ病気等により長期欠席を余儀なくされている生徒の学習支援に積極的に取り組むよう働きかけを行い、誰一人取り残さない教育の実現を図ってまいります。

【質問4】

重要病害虫アリモドキゾウムシへの対応について

▼答弁

農業者にとって作付禁止は経営に直接影響を及ぼすため、これまで行ってきた国庫による補償に加え栽培再開に向けた苗の確保など対策の長期化に伴い生じる様々な課題について協議会で情報を共有し組織的に対応することで安心して営農できるよう取り組んでまいります。

静岡県ホームページ

<https://shizuoka-pref.stream.jfit.co.jp>

で質問・答弁を動画でご覧いただけます。



【質問5】

浜名湖におけるアサリの資源回復の取組について

▼答弁

昨年度までの研究の結果、アサリ資源の減少は湖南部の漁場において餌となる植物プランクトンの不足による産卵数の減少、潮流の変化によるアサリ幼生の遠州灘への流出、クロダイによる食害など複合的な要因が関連していることが明らかになりました。これら結果を踏まえ餌の豊富な湖北部で垂下飼育により産卵を促進させ、碎石を敷いた稚貝の隠れ場所を造成し稚貝の着底率を向上させます。さらに被覆網を設置しクロダイの食害から防除することで産卵から親貝までの生育環境を整備いたします。この取組を繰り返して実証し産卵から親貝までの生活サイクルの好循環を確立させてまいります。

【質問6】

浜名湖におけるカキの収穫時期変動に対する生産者への支援について

▼答弁

県産農林水産物の認知度を高めるためデジタルカタログを運営しており、バイヤー等へ広く売り込む支援をしております。あわせて生産者との意見交換の場を設け現行の販売先を分析し、観光分野への進出を希望する生産者には観光向けの販売促進ツールを提案するほか外国人等の旅行者の受入れに積極的な飲食、観光事業者へ仲介するなど新たな販路開拓を進めて生産者の声を丁寧に伺い実態把握に努めながら引き続き伴走支援に取り組んでまいります。

